



特産果樹生産情報

令和3年11月30日発表

青森県「攻めの農林水産業」推進本部

令和3年産特産果樹の生産概況

1 気象

(1) 積雪深

五戸（りんご研究所県南果樹部）の今冬の最深積雪は、1月8日の39cmで平年を下回った（平年53cm）。気温が1月上旬を除き、平年より高く推移したことから、消雪日は平年より18日早い3月2日であった。

黒石（りんご研究所）の今冬の積雪深は12月中旬～1月中旬及び2月下旬に一時平年並または平年を上回って推移したものの、それ以外の期間は平年を大きく下回った。最深積雪は2月27日の74cmで平年（97cm）を下回った。3月の気温が高めに推移したことから、消雪日は平年より7日早い3月21日であった。

(2) 気温

五戸では、8月中旬、9月上旬及び10月中旬を除き、平年並から高く推移した。特に3月の最高気温の平均は10.7℃（平年6.8℃）、6月第2半旬の最高気温の平均は26.1℃（平年21.5℃）、6月第3半旬の最高気温の平均は27.6℃（平年21.5℃）と高かった。一方、1月に最低気温マイナス10℃以下を記録した日が計7日あった。

黒石では、4月下旬、5月下旬、8月中旬、9月上中旬及び10月中旬を除き、平年並みから高く推移した。真夏日は計27日、猛暑日は計2日（8月3日に35.0℃、8月6日に35.5℃）観測した。3月の最低気温及び平均気温、9月下旬の最高気温は観測史上第1位に高かった。

(3) 降水量

五戸では、3月中旬、8月上旬及び10月上旬を除き、平年並から少なく推移し、4～10月までの総降水量は744.5mm（平年比88%）と少なかった。一方、8月上旬は発達した低気圧の影響により169.5mm（平年比434%）と多かった。

黒石では、5月及び10月を除き、平年並から少なく推移し、特に6月から9月までの総降水量は245.5mm（平年比54%）と観測史上第1位に少なかった。

(4) 日照時間

五戸では、8月中旬及び10月中旬を除き、平年より多く推移した。4～10月の総日照時間は1,411.3時間（平年比134%）と多かった。

黒石では、5月下旬、8月中下旬及び10月中旬を除き、平年並から多く推移した。特に、6月は平年比134%、7月は平年比158%と多く、4月から10月までの総日照時間は1,333.9時間（平年比113%）と多かった。

2 主要果樹の生育経過等

(1) ぶどう

【キャンベル・アーリー（無加温ハウス）】

ア 生育ステージ

発芽日は、五戸で平年より10日早い4月5日、三戸（県生育観測ほ）で2日早い4月2日であった。開花日は、五戸で平年より7日早い5月21日、三戸で2日早い5月12日であった。

着色日は、五戸で平年より5日早い7月27日、三戸で1日早い7月16日であった。収穫始めは三戸で平年より1日遅い8月3日であった。

イ 作柄

10a当たりの房数（以下、房数）、平均房重（以下、房重）ともに平年を上回ったことから、10a当たりの推定収量（以下、推定収量）は3,787kgと平年を上回ると見込まれた。

ウ 病害虫の発生状況

褐斑病が一部園地でやや多かった。

【キャンベル・アーリー（露地）】

ア 生育ステージ

発芽日は、五戸で平年より10日早い4月18日、三戸（県生育観測ほ）で8日早い4月17日であった。開花日は、五戸で平年より8日早い6月12日、三戸で4日早い6月9日であった。

着色日は、五戸で平年より5日早い8月15日、三戸で6日早い8月8日であった。収穫始めは、三戸で平年より11日早い8月24日であった。

イ 作柄

房数、房重ともに平年並であったことから、推定収量は平年並の2,461kgと見込まれた。

ウ 病害虫の発生状況

褐斑病、晚腐病が一部園地でやや多かった。

【スチューベン】

ア 生育ステージ

発芽日は、黒石で平年より3日早い4月26日、弘前（県生育観測ほ）で3日早い4月26日、鶴田（県生育観測ほ）で3日早い4月28日であった。開花日は、黒石で平年より6日早い6月12日、弘前で2日早い6月14日、鶴田で4日早い6月15日であった。

着色日は、黒石で平年より7日早い8月19日、弘前で6日早い8月20日、鶴田で1日早い8月23日であった。収穫始めは、弘前で平年より8日早い9月23日、鶴田で9日早い9月19日であった。

イ 作柄

房数が平年並であったが、房重が平年を下回ったことから、推定収量は1,911kgと平年を下回ると見込まれた。

ウ 病害虫の発生状況

晩腐病が一部園地でやや多かった。

(2) おうとう

【佐藤錦】

ア 生育ステージ

発芽日は、五戸で平年より8日早い4月15日、弘前（県生育観測ほ）で7日早い4月16日、南部町（県生育観測ほ）で6日早い4月13日であった。開花日は、五戸で平年より7日早い4月25日、弘前で5日早い4月27日、南部町で6日早い4月21日であった。

着色日は、五戸で平年より5日早い6月9日、弘前で4日早い6月8日、南部町で4日早い6月6日であった。収穫始めは、弘前で平年より3日遅い6月28日、南部町で平年と同じ6月21日であった。

イ 着果状況

一花束状短果枝当たりの着果数は、凍霜害の影響により全体的に平年よりも少なく、県南地域が0.85果（平年2.02果）、津軽地域が1.73果（平年2.13果）であった。

ウ 病害虫の発生状況

ハダニ類が一部園地でやや多かった。

【ジュノハート】

ア 生育ステージ

発芽日は、五戸で平年より6日早い4月18日であった。開花日は、五戸で平年より5日早い4月28日であった。

着色日は、五戸で平年と同じ6月12日であった。

イ 着果状況

一花束状短果枝当たりの着果数は、凍霜害の影響を受けた県南地域が0.91果（前年1.19果）に対し、津軽地域が2.29果（前年2.06果）であった。

ウ 病害虫の発生状況

ハダニ類が一部園地でやや多かった。

(3) もも

【川中島白桃】

ア 生育ステージ

発芽日は、五戸で平年より14日早い4月3日、黒石で16日早い4月5日、平川（県生育観測ほ）で10日早い4月7日であった。開花日は、五戸で10日早い4月25日、黒石で5日早い4月30日、平川で6日早い4月25日であった。

収穫始めは、平川で平年より5日早い8月27日であった。

イ 果実肥大（横径）

最終調査時の横径は、五戸が8月20日時点で7.9cm（平年比118%）、平川が8月21日時点で8.4cm（平年比116%）であった。

ウ 病害虫の発生状況

せん孔細菌病がやや多く、ハダニ類が一部園地でやや多かった。

（4）西洋なし

【ゼネラル・レクラーク】

ア 生育ステージ

発芽日は、五戸で平年より13日早い3月30日、南部町（県生育観測ほ）で7日早い3月31日であった。開花日は、五戸で平年より8日早い4月27日、南部町で6日早い4月27日であった。

収穫始めは、五戸で平年より9日早い9月14日、南部町で6日早い9月12日であった。

イ 果実肥大（横径）

五戸における最終調査時（9月20日）の横径は、9.7cm（平年比111%）であった。

ウ 果実品質

五戸の収穫時（9月20日）における果実品質は、表面色及び地色は平年より高く、硬度及びヨードでんぷん反応は平年より低かった。糖度は平年より高く、酸度は平年より低かった。

エ 病害虫の発生状況

全般に少なかった。

（5）うめ・あんず

【うめ（豊後）・あんず（八助）】

ア 生育ステージ

五戸では、発芽日は、うめ（豊後）が平年より9日早い3月11日、あんず（八助）が10日早い3月24日であった。開花日は、うめが4月12日、あんずが4月13日とともに平年より10日早かった。

イ 病害虫の発生状況

全般に少なかった。

※令和4年特産果樹生産情報第1号は、令和4年4月上旬に発表予定。